

皆様の被災地訪問のご計画と実施を  
サポートさせていただきます。

### モデルコース（例）

- ①小名浜聖テモテ教会→原発事故による帰還  
困難区域（常磐道）→新地町・磯山聖ヨハ  
ネ教会（礼拝・お茶会参加など）
- ②原発事故による居住制限地域、帰還困難区  
域を中心に
- ③宮城県仙台市若林区荒浜・荒浜小学校（震  
災遺構）→名取市閑上地区など
- ④宮城県気仙沼市（リアスアーク美術館）・南  
三陸方面…旧防災対策庁舎（震災遺構）→  
気仙沼海の市シャークミュージアム→さん  
さん商店街など

### ◆お問い合わせ

最初のご相談は、できるだけメール等文書  
でのご連絡をお願いいたします。  
可能な範囲でのご協力となります。

メールアドレス：sien.tohoku@nssk.org  
FAX 022-223-2387（東北教区事務所）  
TEL 070-5097-7302

日本聖公会東北教区東日本大震災  
被災者支援プロジェクトは、  
これからも被災地により添って  
活動してまいります。

プロジェクトの働きのため  
皆様のご協力をお願いいたします。

### 献金窓口

振込先：七十七銀行 一番町支店  
口座名義：宗教法人 日本聖公会東北教区  
普通預金 口座番号：9204792

振込先：ゆうちょ銀行  
口座名義：東日本大震災被災者支援プロジェクト  
郵便振替 口座番号：02270-7-119647



東北教区主教座聖堂 仙台基督教会に於いて、  
毎月11日午後2時46分の祈りと黙想



## 日本聖公会東北教区 東日本大震災被災者 支援プロジェクト



日々の祈りと働きとして、  
小さくても、止まることなく —

〒980-0803 仙台市青葉区国分町2-13-15  
日本聖公会東北教区事務所内

TEL 070-5097-7302  
FAX 022-223-2387  
Email: sien.tohoku@nssk.org  
<http://nssk-tohoku.com/support/>

# ごあいさつ

主のみ名を賛美いたします。

2011年3月11日午後2時46分に東日本大震災が発生してから、満8年がたちました。その間、東北教区は対策本部、支援室を立ち上げ、また日本聖公会全体の取り組みとして「いっしょに歩こう！プロジェクト」、「いっしょに歩こう！パートII だいに・東北」の働きを通して、4年の間、被災者の方々や被災地の復興に、微力ながら思いと力を注いでまいりました。4年前に「だいに・東北」の活動を終えるにあたり、私たちの心の到来したのは「まだ終わっていない。終わらせてはいけない」という思いでした。私たちの隣に苦しみ悩む人たちがいる限り、共に祈り、共に歩むことが東北に遣わされた教会の姿であると確信しました。

その確信は、2015年6月にスタートした東北教区東日本大震災支援室の働きに受け継がれました。そして2019年からは「日本聖公会東北教区東日本大震災被災者支援プロジェクト」として、被災者の皆さんに寄り添い続けながら、被災地と被災者の現状を全国に発信し続けようとしています。「共に祈り、共に歩む」小さな働きを継続することこそ、私たち東北教区がイエス様の御跡を踏むことだと信じます。

どうぞ今後とも引き続き、皆様方のお祈りとご支援、ご協力をお願い申し上げます。

2019年3月1日

日本聖公会東北教区  
教区主教 吉田 雅人

## 主な働き

### ◆被災地訪問者への協力、案内



教会、学校、グループ等での被災地訪問をお手伝いしています（写真は2018年日本聖徒アンデレ同胞会訪問団）。

### ◆宮城県名取市閑上 お買物支援



災害公営住宅等から遠い商業施設などへ行っています。

### ◎プロジェクト・メンバー

主教 加藤博道（リーダー）・司祭 長谷川清純  
渡部正裕・梅津庸子・赤坂聖矢（協力）

~~~~~  
宣教主事 司祭 越山哲也

### ◆福島県新地町でのお茶会



元広畑仮設住宅にお住まいだった方々、福島第一原子力発電所事故の避難者を中心とした「がんご屋仮設」にお住まいだった方々とのお茶会がそれぞれ続いています（前者は月に1回、後者は隔週開催）。

### ◆被災地巡りツアー



今、被災地がどのような状況にあるのかを実際に見ていただく企画です。

### ◆教区大震災関連行事の運営協力

◆日本聖公会「原発のない世界を求めて」総会議（2012年）に関する協力

### ◆広報活動

教区ウェブサイトを（ホームページ）、  
教区報「あけぼの」に支援活動報告を掲載